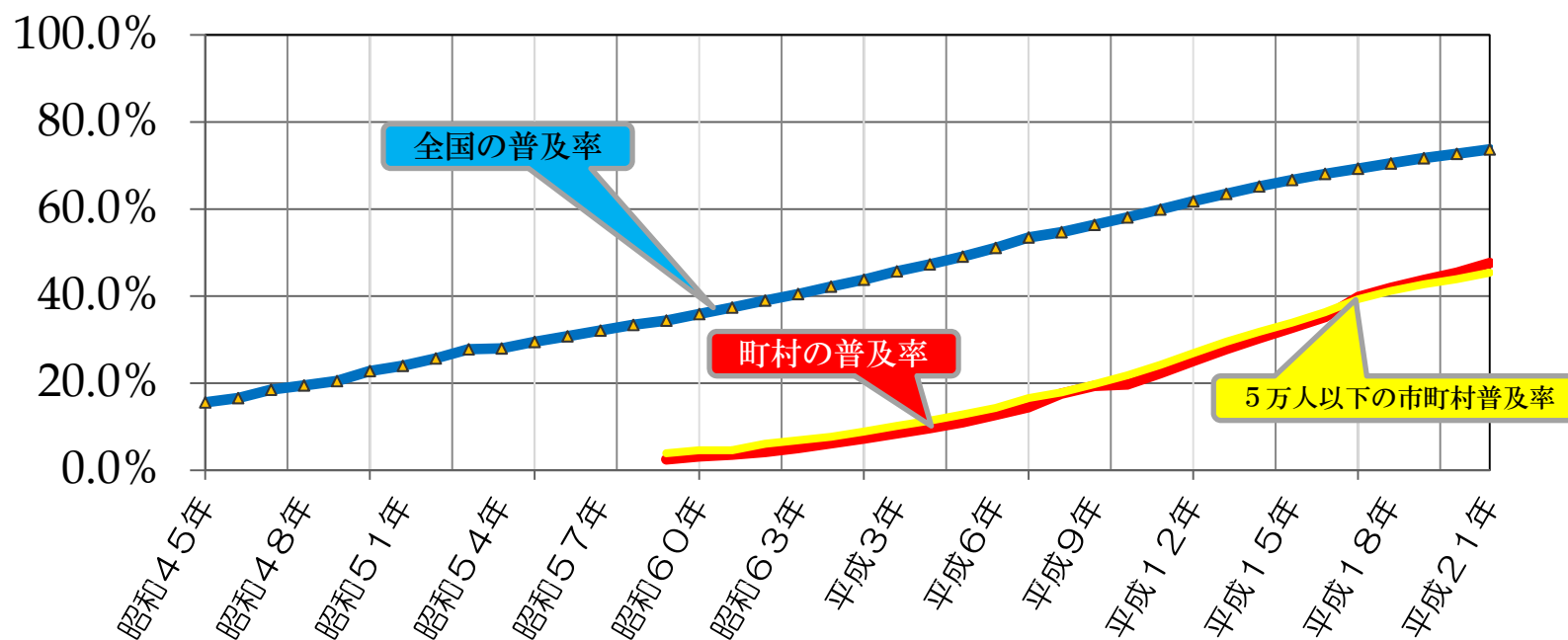


斑鳩町 公共下水道事業

今後の汚水処理のあり方に関する検討会

平成23年1月17日

公共下水道普及率



平成21年度末の全国普及率は73.7%

5万人以下の市町村普及率は45.4%

町村の普及率は47.6%

公共下水道の整備は都市部で早くから着手し普及率が高い

地方では、
着手時期・財政状況 等の諸条件から整備の進捗に格差
今後も地域にあった計画で効率的に汚水処理施設の整備が必要

斑鳩町の公共下水道 その1

昭和45年 事業に着手

大和平野を分割し3箇所処理場を建設する計画。
斑鳩町・平群町・三郷町・生駒市の一部を第3処理区。

昭和47年 第3処理区処理場建設計画を断念。
地理的な条件と地域住民の反対など

昭和49年6月 第1処理区の利用を開始。

昭和59年4月 第2処理区の利用を開始。

平成2年 第3処理区を第1処理区に編入する計画策定。
その後、第1浄化センター周辺より編入に反対。
第3処理区域促進協議会を結成し、編入活動を実施。

平成7年6月 第1処理区への編入合意
安堵町にポンプ場建設計画の地元交渉

平成16年度 ポンプ場完成 流域下水道供用開始

平成16年度末 斑鳩町公共下水道供用開始



| 奈良県市町村名 | 住民基本人口 | 処理区域内人口 | 普及率 |
|------------|----------------|----------------|--------------|
| 奈良市 | 365,157 | 331,383 | 90.8% |
| 大和高田市 | 70,606 | 36,072 | 51.1% |
| 大和郡山市 | 90,321 | 78,805 | 87.2% |
| 天理市 | 67,860 | 65,131 | 96.0% |
| 橿原市 | 124,557 | 82,383 | 66.1% |
| 桜井市 | 60,537 | 42,961 | 71.0% |
| 五条市 | 35,832 | 17,134 | 47.8% |
| 御所市 | 30,526 | 13,466 | 44.1% |
| 生駒市 | 118,675 | 68,136 | 57.4% |
| 香芝市 | 75,052 | 43,771 | 58.3% |
| 葛城市 | 36,172 | 35,043 | 96.9% |
| 宇陀市 | 35,815 | 20,619 | 57.6% |
| 山添村 | 4,331 | 223 | 5.1% |
| 平群町 | 20,335 | 2,615 | 12.9% |
| 三郷町 | 22,950 | 13,835 | 60.3% |
| 斑鳩町 | 28,495 | 9,965 | 35.0% |
| 安堵町 | 7,948 | 6,140 | 77.3% |
| 川西町 | 8,825 | 8,772 | 99.4% |
| 三宅町 | 7,558 | 7,430 | 98.3% |
| 田原本町 | 32,823 | 29,179 | 88.9% |
| 高取町 | 7,729 | 2,276 | 29.4% |
| 明日香村 | 6,176 | 5,524 | 89.4% |
| 上牧町 | 24,170 | 22,596 | 93.5% |
| 王寺町 | 22,411 | 21,460 | 95.8% |
| 広陵町 | 33,821 | 33,212 | 98.2% |
| 河合町 | 19,282 | 18,924 | 98.1% |

斑鳩町の公共下水道 その2

行政面積 1,427 h a

公共下水道人口普及率
35%

| 汚水処理施設 | 利用割合 |
|-----------|------|
| 公共下水道 | 21% |
| 単独浄化槽 | 53% |
| 合併浄化槽 | 11% |
| くみとり | 6% |
| その他（コミプラ） | 9% |

都市計画決定区域 485 h a

整備済区域 145 h a

PI (パブリック インボルブメント) その1

公共下水道事業PIを実施

- 公共下水道事業の説明パンフレットを作成し配布
- 住民意見交換会を実施
- インターネットによる意見募集
- アンケート結果の公表
- PI結果を踏まえ進め方を決定し公表 等



I 下水道PIについて

斑鳩町では下水道事業にPIを導入して進めていきます。
→下水道についての皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

PIとは

PIとはパブリック・インボルブメント(Public Involvement)のことです、公共事業の計画づくりや事業を進める過程で、関係する住民の皆さんや利用者の方に情報を公開した上で、広く意見をうかがい、計画づくりや事業実施に皆さんの意見を反映させることをいいます。

PIを実施することには、以下のような目的があります。

- 住民の皆さんに行政が行おうとしている施策や考え方を**知っていただく**。
- 住民の皆さんから、行政の事業について**意見や要望をいただく**ことで、皆さんのような意見や要望を持っているかを把握する。
- 住民の皆さんの意見や要望を**事業に反映させる**。
- 住民の皆さんとの**コミュニケーションをはかる**ことで、より良い事業を展開する。

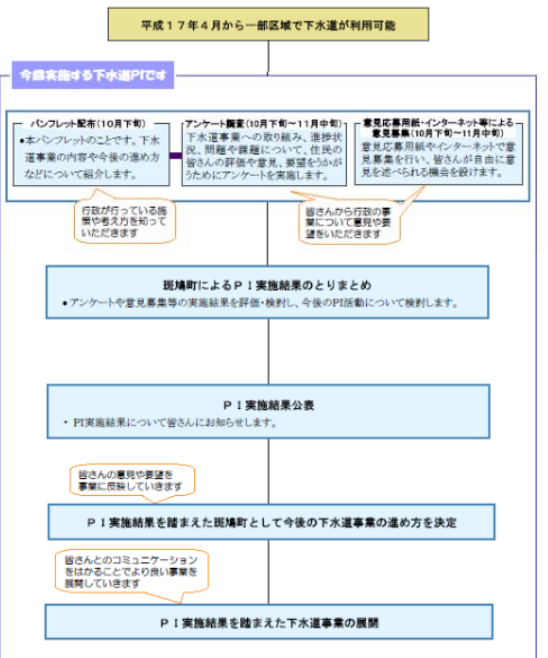
下水道事業にこそPIが必要

最近、道路や河川事業ではPIが取り入れられる事が多くなってまいりましたが、下水道事業でPIが導入された例は、まだありません。しかし、下水道は住民の皆さんのご理解とご協力なしには進めることができない事業です。このため下水道事業にこそ、PIを導入して皆さんに下水道事業について知っていただくと同時に、皆さんから意見や要望をおかき出して、事業に反映させていくことで、今後、より良い下水道事業を実施することが可能になります。

I 下水道PIについて

斑鳩町での下水道PIの流れ

今年度、斑鳩町で実施を予定しているPIの内容です。来年度以降は、今年度に皆さんからいただいたご意見やご要望をふまえて検討していきます。



II 下水道とは?

公共下水道のしくみについて

公共下水道とは、下水道管の中を流れる汚水を、浄水場の下水道処理施設(下水処理場)で処理し、きれいな水(処理水)を川や海に放流することです。公共下水道のしくみは、下水道管、下水処理場、放流口の3つから成ります。

公共下水道の普及状況について

全国的に下水道管の敷設率は、88.7%で、下水道処理施設の敷設率は、85.1%です。斑鳩町の下水道管の敷設率は、18.3%で、下水道処理施設の敷設率は、10.2%です。

| 項目 | 割合 |
|-----------------|-------|
| 全国的な下水道管の敷設率 | 88.7% |
| 全国的な下水道処理施設の敷設率 | 85.1% |
| 斑鳩町の下水道管の敷設率 | 18.3% |
| 斑鳩町の下水道処理施設の敷設率 | 10.2% |

III 下水道の果たす役割・効果

環境がよくなること...

- 臭気や騒音が減ります。
- 下水道管の敷設による地盤沈下や、下水道管の破裂による漏水の防止が期待できます。
- 下水道管の敷設による地盤沈下や、下水道管の破裂による漏水の防止が期待できます。

健康で暮らせること。

- 下水道管の敷設による臭気や騒音が減ります。
- 下水道管の敷設による地盤沈下や、下水道管の破裂による漏水の防止が期待できます。

美しい環境の環境を考えたこと。

- 下水道管の敷設による臭気や騒音が減ります。
- 下水道管の敷設による地盤沈下や、下水道管の破裂による漏水の防止が期待できます。

IV 斑鳩町の下水道事業計画について

斑鳩町の下水道事業はどのように進んでいるか

| 年度 | 下水道管の敷設延長(延長) | 下水道処理施設の敷設(床面積) |
|--------|---------------|-----------------|
| 平成17年度 | 約1.2km | 約1,000㎡ |
| 平成18年度 | 約1.5km | 約1,200㎡ |
| 平成19年度 | 約1.8km | 約1,500㎡ |
| 平成20年度 | 約2.1km | 約1,800㎡ |
| 平成21年度 | 約2.4km | 約2,100㎡ |
| 平成22年度 | 約2.7km | 約2,400㎡ |
| 平成23年度 | 約3.0km | 約2,700㎡ |
| 平成24年度 | 約3.3km | 約3,000㎡ |
| 平成25年度 | 約3.6km | 約3,300㎡ |

現在の状況と今後の予定

- 下水道管の敷設延長は、平成25年度までに約3.6kmです。
- 下水道処理施設の敷設面積は、平成25年度までに約3,300㎡です。

V 排水設備の接続について

排水設備と下水道のしくみ

排水設備とは、家庭や店舗などで発生した排水を、下水道管に接続して処理するための設備です。排水設備の接続には、排水管の敷設、排水ポンプの設置、排水口の設置が必要です。

皆さんの協力による下水道への接続が必要

下水道への接続には、皆さんの協力が不可欠です。皆さんの排水設備と下水道管との接続を完了させる必要があります。

排水設備の接続の手続き

- 排水設備の接続申請書の提出
- 排水設備の接続工事の実施
- 排水設備の接続完了の確認

VI 接続にかかる費用負担と資金制度について

接続にかかるときの費用負担

下水道への接続には、接続費がかかります。接続費は、下水道管の敷設費、排水ポンプの設置費、排水口の設置費などです。

加入費負担について

下水道への接続には、加入費がかかります。加入費は、下水道管の敷設費、排水ポンプの設置費、排水口の設置費などです。

接続費の負担割合

| 項目 | 負担割合 |
|-----|------|
| 接続費 | 50% |
| 加入費 | 50% |

VII 接続にかかる費用負担と資金制度について

下水道料金のしくみ

下水道料金とは、下水道管の敷設費、排水ポンプの設置費、排水口の設置費などです。下水道料金は、下水道管の敷設費、排水ポンプの設置費、排水口の設置費などです。

下水道料金の徴収状況

| 項目 | 金額 |
|-----------|--------|
| 下水道管の敷設費 | 約100万円 |
| 排水ポンプの設置費 | 約50万円 |
| 排水口の設置費 | 約20万円 |

下水道料金の徴収率

| 項目 | 徴収率 |
|---------------|------|
| 全国的な下水道料金の徴収率 | 約90% |
| 斑鳩町の下水道料金の徴収率 | 約50% |

PIアンケート結果 その1

回答 997人/1500人 (回収率66.5%)

みんなでつくる斑鳩町の下水道 ～下水道に関するPIを実施しました～

斑鳩町でのPI実施について

・下水道事業のPIについて

斑鳩町では、平成17年4月から一部の地域で下水道が使用できるようになりました。そこで今回、これからの下水道事業をよりよく進めていくために、下水道事業にPI(パブリック・インボルブメント)を導入しました。

PIとは、公共事業の計画づくりや事業を進めるなかで、関係する住民の皆さんに情報を公開すると同時に、広く意見を聞くことで、その事業の実施に反映させることをいいます。

今回のPIでは、パンフレットで下水道についての情報をご提供すると同時に、アンケートや住民意見交換会等で皆さんから様々なご意見を伺いましたので、その結果をお知らせいたします。

・斑鳩町での下水道に関するPIの流れ

平成17年4月から一部の区域で下水道が利用可能となりました。

今回実施した下水道PIです

意見の募集と情報提供

斑鳩町の下水道事業についての意見をうかがうために、20才以上の斑鳩町住民1,500人を対象に、3つの整備段階の区域に分けてアンケート調査を実施しました。

この調査では、斑鳩町の下水道事業を理解して頂くために、パンフレット(みんなでつくる斑鳩町の下水道)を一揃に郵送で配布し、情報を提供した上で意見を伺いました。

また、斑鳩町のホームページ上でも、下水道に関する皆さんの意見を伺いました。

- ・パンフレット配布・アンケート調査(10月下旬～11月中旬)
- ・インターネット等による意見募集(10月下旬～2月中旬)



「みんなでつくる斑鳩町の下水道」

- (内容) I. 下水道PIについて
II. 下水道とは
III. 下水道の果たす役割・効果
IV. 斑鳩町の下水道事業計画について
V. 排水設備の接続について
VI. 接続にかかる費用負担と資金制度について
※パンフレットは斑鳩町のホームページ
(<http://www.town.kiriyu.nara.jp/ku/pi/pamph/index.html>)でご覧いただけます。

住民意見交換会(2月19日)

斑鳩町の町政モニター登録者の皆さん(22人)に斑鳩ホール研修室にお集まりいただき、住民の皆さんと町長、及び斑鳩町下水道課職員で意見交換を行いました。



<意見交換のテーマ>

- 議題1. 斑鳩町の公共下水道事業全般について
- 議題2. 公共下水道への接続に関する問題点と課題について
- 議題3. より多くの人に公共下水道に接続してもらうための方策について

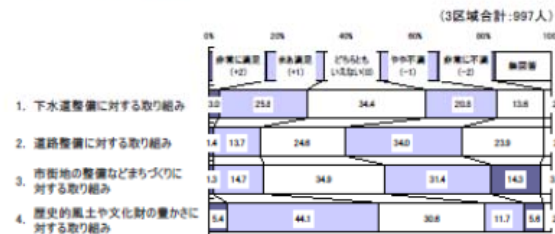
PI実施結果公表(広報いかるが 平成18年5月号)

【調査結果のあらまし】

1. 下水道事業全般についての評価

■斑鳩町役場の各事業の取り組み

「下水道整備に対する取り組み」に満足している人は、「道路整備」や「市街地整備」に満足している人よりは多いものの、30%以下の低い割合にとどまっています。

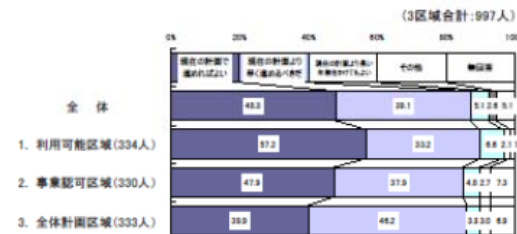


(自由意見より)

・世界文化遺産の法隆寺を持つ斑鳩町としては、奈良県を代表する整備事業を推進し、実行する必要があると思います。下水道事業と並行して道路整備も同時進行が望ましいです。(全体計画区域/40代/男性)

■斑鳩町の下水道事業計画の進め方

全体計画区域のように、下水道の整備時期が遅い区域ほど、「現在の計画よりも早く進めるべきだ」と思っている人の割合が高くなっています。



(自由意見より)

・現在、斑鳩町の下水道整備は全体的に遅れているように感じるので、これからは積極的に取り組んで欲しいと思います。(事業認可区域/20代/男性)

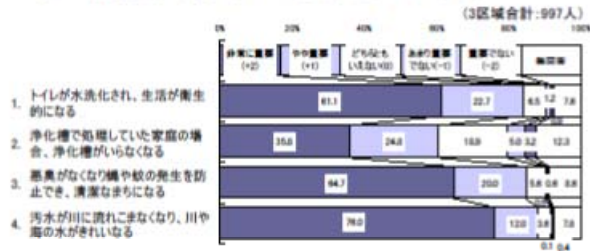
下水道整備に満足している割合は30%以下

整備の進め方では、もっと早く進めるべきと回答した割合が高い

PIアンケート結果 その2

■下水道の役割に対する評価

「汚水が川に流れこまなくなり、川や海の水がきれいになる」ことを「非常に重要」と思う人が76.0%と、高い割合を占めており、斑鳩町住民の皆さんの環境意識の高さがうかがえる結果となっています。



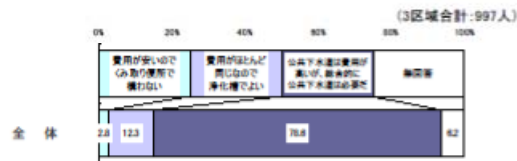
(自由意見より)

・大和川が全国でワーストワンになった時点から恥ずかしく思っておりました。下水道事業が進み、きれいな水質の大和川になる事を願っております。(事業認可区域/70代以上/女性)

下水道の役割が重要と回答した割合は76%

■他の汚水処理施設と費用比較した上での下水道の必要性

「公共下水道は他の汚水処理施設に比べて費用がかかるが、総合的に判断すると、やはり公共下水道は必要だ」と思った人が大多数の78.6%で、下水道の必要性はおおむね斑鳩町住民の皆さんに理解されているという結果となっています。

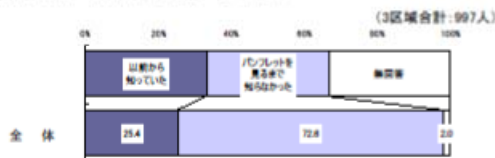


汚水処理施設の中で総合的に判断し公共下水道が必要と回答した割合は78.6%

2. 下水道事業についての認知状況

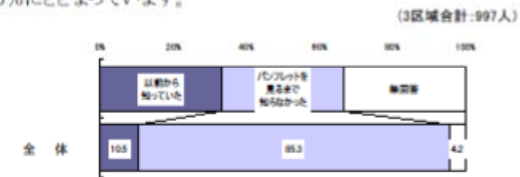
■加入負担金の金額（一戸あたり10万円）を知っているかどうか

加入負担金が一戸あたり10万円であることを「以前から知っていた」人は、25.4%の低い水準にとどまっています。



■下水道料金（1m³あたり120円）を知っているかどうか

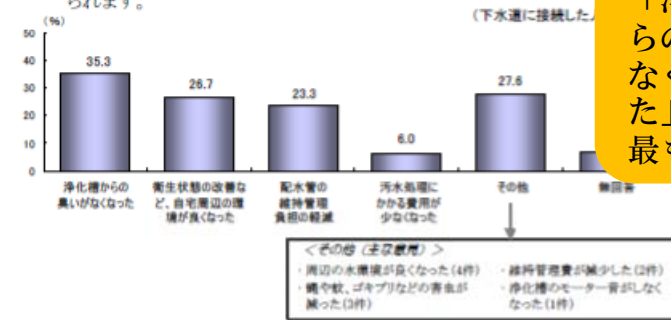
下水道料金が1m³あたり120円であることを「以前から知っていた」人の割合は、加入負担金の金額を知っていた人よりもさらに低く、全体で10.5%にとどまっています。



3. 下水道への接続に対する評価

■下水道に接続して良かった点

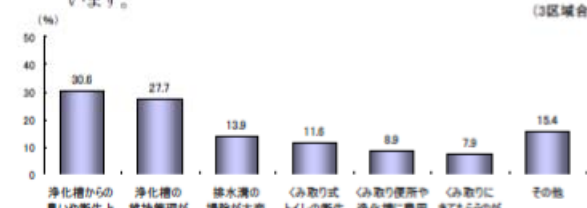
接続してよかった点として、「浄化槽からの臭いがなくなった」が35.3%で、最も多くあげられました。それ以外では「衛生状態の改善など、宅周辺の環境が良くなった」など、周辺環境の改善をあげる人が多いです。



下水道に接続して良かった点は「浄化槽からの臭いがなくなった」35%と最も多い

■下水道がなくて困っている（困っていた）点

「浄化槽からの臭いや衛生上の問題」(30.6%)や「浄化槽の維持管理が大変」(27.7%)など浄化槽の管理や衛生上の問題が多くあげられています。



下水道がなくて困る点は「浄化槽の臭いと維持管理」が多数

PI 住民意見交換会結果

住民意見交換会の実施結果（平成18年2月19日）

〔住民意見交換会のあらまし〕

■住民意見交換会の目的と今回の特徴

平成17年10月に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、今後の施策に反映することを目的に、平成18年2月19日（日）に町政モニター登録者の皆さん22人と斑鳩町の下水道事業のかかえる問題点や課題についての住民意見交換会を斑鳩ホール研修室にて実施しました。

今回の住民意見交換会は、斑鳩町から情報を提供して、それに対する住民の皆さんの意見を直接伺うだけでなく、住民の皆さん同士もお互いに意見を交換しあうことで、互いに理解を深め合うことを狙いとしたものでした。



〔実施の結果について〕

・住民の皆さんから頂いた意見を整理した結果は以下の通りです。

議題1.斑鳩町の公共下水道事業全般について

■下水道事業の進め方について

- ・事業認可区域や全体計画区域についても、具体的な整備時期を知りたい。
- ・近隣の市町村では普及率が高いところもあるのに、斑鳩町の下水道事業はなぜこんなに遅れているのか知りたい。

■下水道事業に関する情報提供について

- ・住民の費用負担について、他の市町村のデータと比較して説明する必要がある。
- ・排水設備の接続費用について、既に接続した人の事例を紹介して欲しい。
- ・もっと早い時期から住民にきめ細かな情報を提供すべきだ。

■加入負担金について

- ・加入負担金10万円を負担するのは大変厳しい。
- ・なぜ加入負担金が10万円なのか根拠をきちんと説明すべきである。また、議会で決定したのなら、その経緯も説明してもらいたい。

議題2.公共下水道への接続に関する問題点と課題について

■未接続の人についての問題点

- ・未接続の人が加入負担金を支払わないと、今後の下水道事業の計画が予定通りに進まなくなるのではないかと心配である。
- ・また、未接続の人がいるとせっかくの下水道の浄化効力が低減するので、斑鳩町は何らかの対応策を考えなくてはならないだろう。

■排水設備接続の必要性について

- ・既に浄化槽で汚水を処理しているのに、加入負担金や接続工事費用を払ってまで下水道に接続する必要性が感じられない。
- ・下水道事業のことをあまり把握していなかったが、公共下水道の意義を考えて、出来るだけ接続したいと思う。
- ・大和川を釣りができるような水質にするためにも、皆で協力して住民は自分の負担をしなければならない。

議題3.より多くの人に公共下水道に接続してもらうための方策について

■きめ細かな情報提供が必要

- ・斑鳩町が住民の負担を少しでも軽くするための努力をしていることをもう少し分かりやすく説明してくれば、住民も納得するだろう。

■利用しやすい資金制度

- ・融資斡旋制度そのものは良い制度だが、連帯保証人が必要な点など実際には利用しにくい条件となっているので、配慮してほしい。

■高齢者に対する加入負担金の免除制度

- ・独居の高齢者など、加入負担金10万円を支払うのが厳しい家庭もあると思われるので、そのような家庭に対する免除制度があるとよい。

■自治会単位での協力

- ・集中浄化槽のある自治会では、自治会単位での協力が必要だと思う。

■住民一人一人の意識向上

- ・身近な川が下水道によって、どれだけきれいになったのか目標を設定し、住民の協力できれいにしていくことが大切だ。
- ・汚水の処理にはお金がかかり、今の時代はモノを捨てるのにも費用がかかることを住民に理解してもらう必要がある。



PI実施のお礼

今回のアンケート及び住民意見交換会では、多くの住民の皆さんから斑鳩町の下水道事業についてのご意見をいただき、ありがとうございました。斑鳩町では、今回いただいたご意見を踏まえて、事業を進めていきたいと考えておりますので、今後も下水道事業へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ 斑鳩町上下水道部 下水道課 0745-74-2406

意見交換会では、

- ・公共下水道事業全般について
- ・公共下水道への接続に関する問題点と課題
- ・より多くの人に接続してもらうための方策

PI 結果を踏まえた事業の進め方



PI 結果を踏まえた公共下水道事業の進め方を公表

- ・ 詳細で的確な情報提供
- ・ 下水道整備のさらなる推進
- ・ 多くの住民の皆さんに接続していただくための方策を今後も検討していく

まとめ

進め方(まとめ)

で的確な情報提供

下水道事業について、詳細で的確な情報を段階に応じて、住民の皆さんに分かりやすくお伝えします。

- ・ 事業計画等の情報提供については、工事開始前の地域だけでなく、広報や出前講座等で住民の皆さんに整備予定時期をお知らせするようにいたします。
- ・ 加入負担金や下水道使用料については、住民の皆さんにご負担をいただくかなければならないため、金額そのものについての情報に加えて、金額設定の根拠や必要性についても詳細で分かりやすい情報提供をいたします。
- ・ 今後も、下水道事業について住民の皆さんに理解していただけるように、事業内容や下水道の必要性、効果などについて、定期的な広報掲載やパネル展示等を通して、きめ細かで的確な情報提供を行うよう努めていきます。

下水道整備のさらなる推進

- できるだけ早く、多くの住民の皆さんに下水道を利用していただけるよう、効率的に整備を進めていきます。
- 下水道整備をもっと早く進めてほしいという住民の皆さんの意見を踏まえて、整備を効率的に進めるための方策を検討し、下水道整備を進めていきます。

多くの住民の皆さんに接続していただくための方策の検討

- より多くの住民の皆さんに下水道へ接続していただくための支援制度などの方策を今後も検討していきます。
- 現行の融資あっせん制度をより多くの住民の皆さんに利用していただけるよう、制度内容を検討していきます。

下水道事業を推進していくには、行政の取り組みに加えて、住民の皆さんのご理解とご協力が欠かせません。

下水道の整備によって、斑鳩町の豊かな自然を保全し、快適な生活環境を確保するため、皆さんのご協力をお願いいたします。

1 斑鳩町での下水道PI実施について

PIとは

PIとは、パブリック・インボルブメントのことで、公共事業の計画づくりや事業を進める過程で、関係する住民の皆さんに情報を公開する同時に、広く意見をうかがい、計画づくりや事業の実施に皆さんの意見を反映させることをいいます。

斑鳩町での下水道PI実施について

斑鳩町では、平成17年4月から一部の地域で下水道が利用できるようになりました。そこで今回、これからの下水道事業をよりよく進めていくために、下水道事業にPI（パブリック・インボルブメント）を導入しました。

今回のPIでは、パンフレットで下水道についての情報をご提供すると同時に、アンケートや住民意見交換会等で皆さんから様々な意見をうかがい立しました。皆さんからいただいた貴重なご意見を分析した結果、斑鳩町の下水道事業について、いくつかの課題点や疑問が明らかになりました。

今後、斑鳩町では、このPI実施結果の検討を踏まえて、より皆さんにご理解いただける下水道事業を検討していく予定です。



斑鳩町長からのご挨拶



斑鳩町長 小塚 隆雄

斑鳩町は、「歴史と文化が暮らしの中にもよく「斑鳩の里」の雰囲気を醸成し、計画的な計画形成を図るため、下水道の整備を進めていきます。

かつて、枯げるほどきれいだった大和川は、昭和40年代をピークに水質が悪化し、年々水質が悪化しているもの、いまだラスト上流にサンケイがまっています。この大和川の支流である地川川が、多く飲まれた川であり、私たちがこの川を永久の美しい川として未来に引き継ぐ必要があります。

このように豊かな自然を守り、生活環境をよくすることは、下水道の大がかりな事業です。今後も住民の皆さんの意見を踏まえ、よりよい下水道事業を進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

環境（河川の水質と普及率）

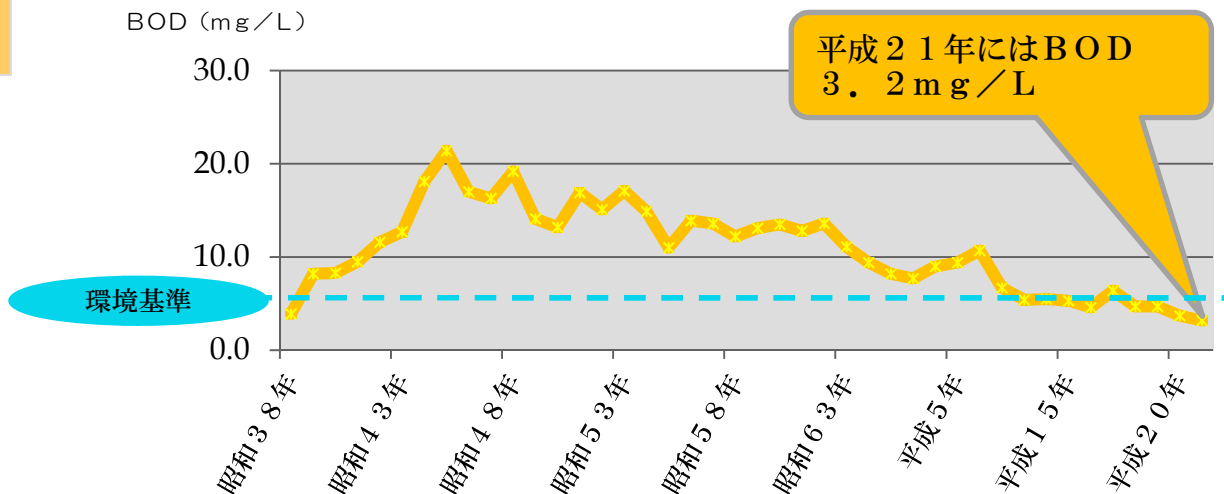
一級河川 大和川の水質

- ・昭和49年・昭和53年に大和川流域内で2箇所の流域下水道処理場が供用開始される。
- ・流域下水道処理場の供用開始後、各市町村の下水道整備が進み大和川の水質が年々改善されている。
- ・昭和42年5月の公害対策基本法に基づき昭和45年に大和川の水質環境基準が定められているBOD5mg/L以下の基準値を、本川8地点で採取された平均水質が達成している。

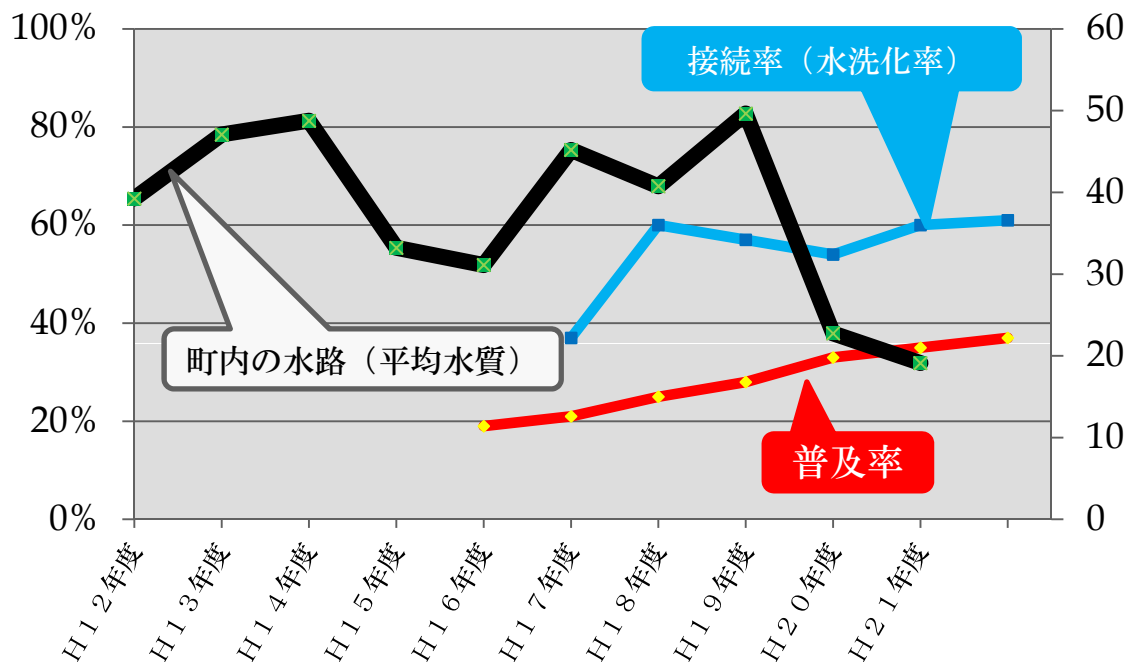
斑鳩町の各水路の平均水質

- ・以前は、町内を流れる身近な水路からは、生活雑排水等によりBODが30～50mg/Lの水質により大和川の各支線に流れ込んでいた。
- ・平成16年度末に公共下水道の供用を開始し、平成20年度、平成21年度には水質改善傾向がみられる。
- ・今後も公共下水道に普及と水洗化の促進を進め水質改善に努める。
- ・公共下水道の普及により身近な水路の水質改善が生活環境も改善される。

BOD (mg/L)



BOD (mg/L)

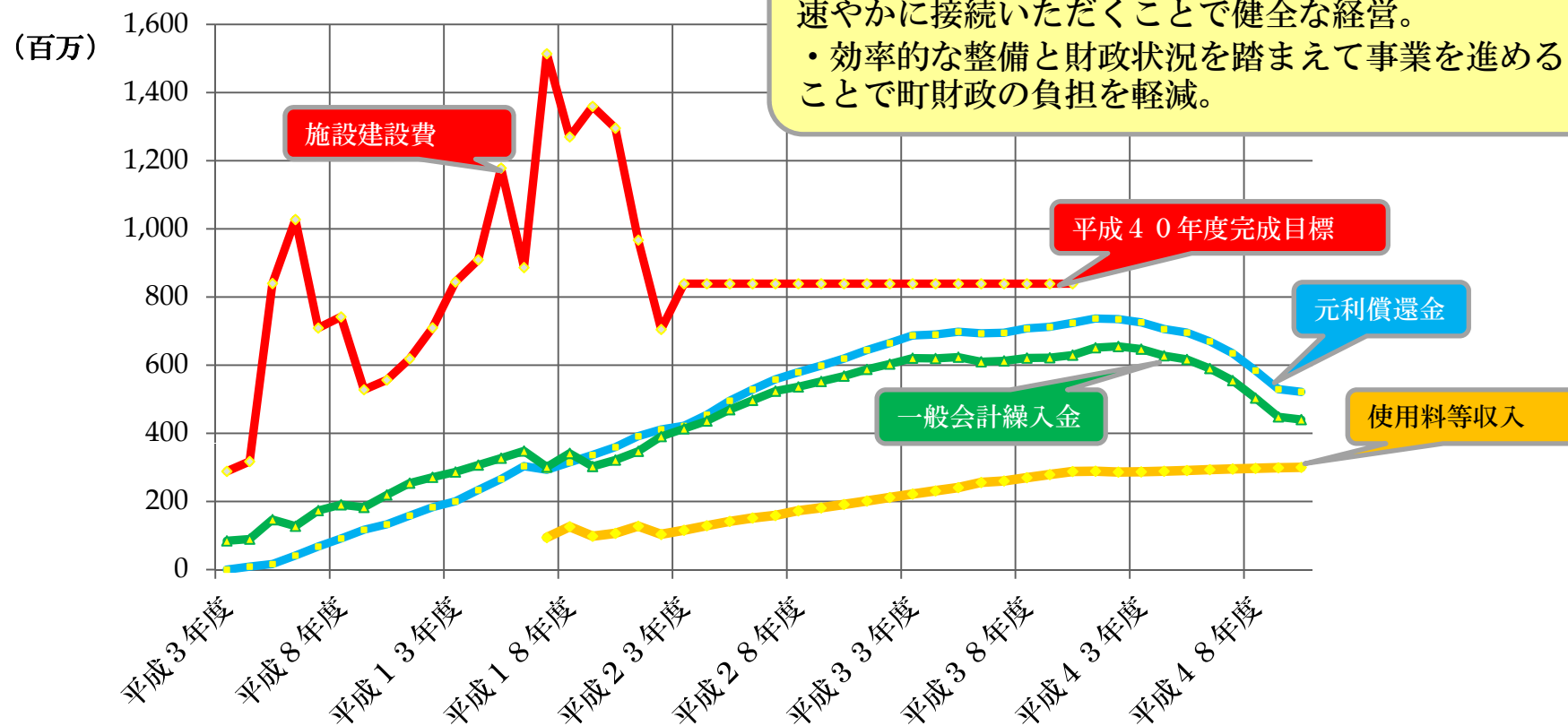


財政（一般会計と公共下水道事業費）

公共下水道施設の建設費用を試算：約330億円
 うち平成3年度～平成21年度までに約166億円を執行
 現計画では、平成40年度を完成目標年次

公共下水道事業に係る特別会計の決算と財政推計では

- ・平成40年度の完成目標で進めると今後、約8億円／年程度の建設費用が必要となる。
- ・建設事業に伴う起債残高が平成32年度にピークに達し約91億円となる。
- ・元利償還金は約7億円を推移し、その財源として一般会計からの繰入金が必要と試算。
- ・使用料や受益者負担金では、住宅地が多く大規模な事業所が無いことから収入規模が小さい。



汚水処理施設（県と町）



斑鳩町 し尿処理施設

くみ取りトイレのし尿・浄化槽汚泥処理場として
・昭和52年に約8億5,000万円で建設。

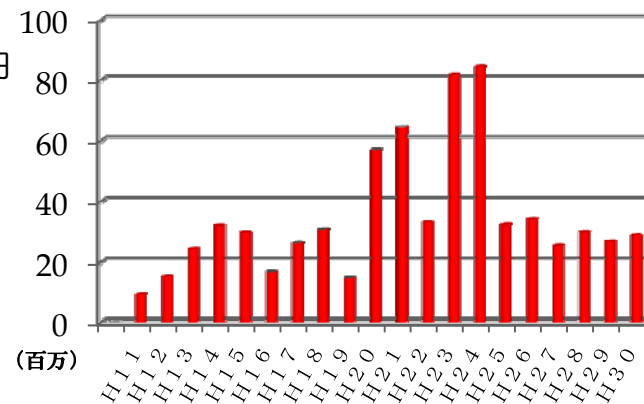
・H5年度 オゾン処理導入 約8,700万円

・H20年度～H21年度
脱窒素処理工事 約4,900万円

総額 9億8,600万円

| 年度 | 年間処理量 (キロリットル) | 施設維持管理費用 (千円) |
|-------|-------------------|------------------|
| H17年度 | 11801 | 123,657 |
| H18年度 | 11225 | 118,488 |
| H19年度 | 10466 | 118,594 |
| H20年度 | 9243 | 157,075 |
| H21年度 | 9751 | 165,140 |

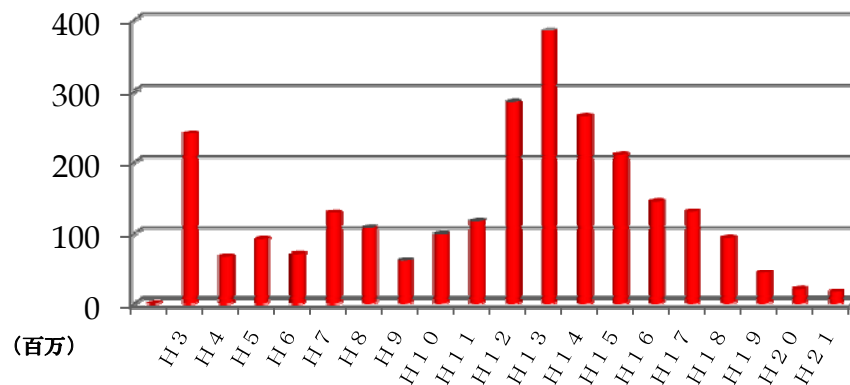
補修や改良工事費用では（下記グラフ参照）
H11～H21までは補修費実績：3億2千万円
H22～H30までは見込み費用：3億8千万円



奈良県 流域下水道センター

斑鳩町は流域関連公共下水道として奈良県の処理場を利用
昭和45年に建設。

建設負担金として、約26億円を支出（平成3年度～平成21年度）
今後も耐震や改築更新に係る建設費用を負担する



汚水処理施設整備の課題

公共下水道

- ・安定した水質を確保して河川へ放流できることから環境に最も良好
- ・一括処理のため汚水処理技術の進歩に即座に対応が可能
- ・施設整備の住民要望が高い
- ・悪臭や放流水の問題が無く、生活環境が良好
- ・耐用年数が長く、社会資本施設としての資産価値が高い
- ・整備に係る期間が長期に亘る
- ・事業に要する支出が巨額で、町財政への負担が大きい

合併浄化槽（行政設置型）

- ・個別に汚水処理施設を設置することが可能
- ・建設費が安価
- ・施設の処理能力や機能が向上
- ・浄化槽からの処理水放流先の施設整備が必要
- ・設置基数分の維持管理（施設の点検、故障対応、改築、汚泥処理 等）が必要となることからスケールメリットが少なく、経費が割高
- ・し尿処理場を同規模で継続して稼働するため施設の更新改築費用が必要
- ・公共下水道の利用者と比べて住民に不公平感

共通課題

- ・公共下水道事業と合併浄化槽事業の公平性（公費負担、住民負担分の受益者負担金や使用料の料金設定）
- ・整備区域内の公共下水道への未接続や個人浄化槽使用家屋への対策

斑鳩町では

現在の下水道計画区域においては、住民の意向調査で強く下水道を要望されていることや、公共用水域の水質改善は重要な施策であることから、今後も公共下水道の整備促進を図っていく。

一方で公共下水道事業には、町の厳しい財政状況や少子高齢化等の人口減少予測といった課題があることから・・・

新たな方策として、

・公共下水道施設整備が完了する期間と合併浄化槽の耐用年数や補修が必要となる時期等を勘案し、下水道の整備が遅くなる地域へは公共下水道施設の補完施設として合併浄化槽整備を一時的に採用することで、町の財政に応じた公共下水道整備を図ることができる。

・町のし尿処理場と県の流域下水道処理場の両方を利用していることから、町のし尿処理場で受け入れたし尿を希釈や処理工程を軽減した処理水を流域下水道へ流入できるようになれば、汚水処理にかかる経費が軽減できる。

等を検討、要望していきたい。